
【アトラクション】

長野県伊那市立美篤小学校 金管バンドクラブ

演奏曲 「信濃の国」 「伊那節」 「木曽節」



（司会）美篤小学校金管バンドは、現在 39 名で活動しています。伊那市のほとんどの小学校は合唱に力を入れています。美篤小学校は、市内でただ 1 校、バンド活動を続けてきました。そして、今年の夏には長野県の大会に初めて参加し、多くの方に演奏を聞いていただくことができました。

（美篤小）皆さん、こんにちは。美篤小学校です。本日は、権兵衛道路開通

10 周年、誠にありがとうございます。

「伊那節」は、木曽へ木曽へとつけ出す米はと歌われているとおり、かつての権兵衛峠のことを歌った民謡です。たとえ険しい道であっても伊那谷と木曽谷を最短ルートで結ぶ重要な交通路だったのでしょ

う。現在では、通る人が少なくなった権兵衛峠ですが、トンネルの開通によって再び伊那谷と木曽谷の交流が盛んになってきました。開通から 10 年。これからもますます、文化や経済の交流が盛んになることを期待しています。

（司会）本シンポジウムにぴったりの素敵な演奏をありがとうございました。

【開 会】

開会の言葉

国道 361 号改修促進期成同盟会 副会長 木曽町長 原 久二男



皆さん、こんにちは。ただいまご紹介をいただきました、当期成同盟会副会長を仰せつかっております、木曽町町長の原でございます。本日は、たくさんの皆さんにご来場いただきまして、心から御礼を申し上げたいと思います。

権兵衛峠のトンネルが開通をして、

来年 2 月で丸 10 年という節目の年を迎えます。この 10 年で、先ほどの子どもたちの挨拶の中にもありましたが、木曽と伊那の交流が非常に盛んになって大きな変化ができていないかと思っております。木曽から見ますと、病院から始まって買い物に至るまで生活圏が本当に変わってきて非常にありがたい、そんな道路、トンネルの開通ではなかったかと思っております。

この間、国土交通省をはじめとして関係機関の皆さまに大変お世話になっておりますことに、改めて御礼を申し上げます。

本日は、この10年を振り返りながら、これからの将来に向けて、どうあるべきか、そんなテーマを持って、このシ

ンポジウムをこれから開催させていただきますので、最後まで、どうぞよろしくお付き合いのほど、お願いしたいと思います。そんなことを申し上げて、本シンポジウムの開会のご挨拶にさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

主催者挨拶

国道361号改修促進期成同盟会 会長 伊那市長 白鳥 孝



皆さん、こんにちは。昨日の雨は、山の上では雪でありまして、我が家から見た権兵衛峠のやや上のところが真っ白になっておりました。今日は、国道361号権兵衛峠道路開通10周年記念シンポジウムの開催にあたりまして、国会議員の先生方、また、国、県、及び当同盟会の構成団体、関係者の皆様には、大変お忙しい中にも関わらずご臨席を賜りお礼を申し上げます。関係機関の皆様のご理解とご尽力によりまして、国道361号沿線各地で事業が活発に進められていることに対しまして心より感謝を申し上げます。

伊那木曾連絡道路が開通して、来年2月をもちまして、ちょうど10年になるわけです。開通によって、伊那、木曾は通年、通行ができなかった時期がずっと長かったわけですが、大きく変わりました。観光客の流れ、あるいは就業、医療などの分野で、伊那木曾地域に一つの共通の生活圏ができたと言えるかと思います。

そして、現在、岐阜県高山市においても、精力的にいろいろな事業を展開

していただいております。上ヶ洞バイパス、ちょうど高根ダムの横のあたりですが、細かなトンネルが4つほど連続して通行困難な場所があります。ここに約2,000メートルのトンネルを開けるということで、つい先日、貫通いたしました。このトンネルが整備されること、また、中之宿という一部狭い道路がありますが、そちらも改良事業が計画がされていると伺っております。私どもを含め、沿線住民の期待は大変大きくなってきていると思います。

このように道路環境が整うことによりまして、各地域の特色、文化、資源などが有機的に結びつき、新しい生活圏や経済圏が形成されるということになるわけです。また、本路線は、中央自動車道との連結によって、首都圏及び中京圏と、伊那、木曾、高山を結ぶ最短路線として、さらには、平成39年開業が予定されておりますリニア中央新幹線との接続によって、広域的なアクセスとネットワークが形成されるということ、大変重要な役割を持つ基幹道路として重要度がさらに増して行くことになるわけです。

今後、日本海側と太平洋側を結ぶ重要な道路として、地域産業の活性化、

中部山岳観光の情報発信、地域間協力によります災害支援、医療体制の充実、また、生活・産業基盤の形成と発展を目指しまして、伊那と木曾と高山の3地域の連携が深まっていくことを期待するわけであります。特にインバウンドを取り込むために、現在、中部北陸9県で進めております「昇龍道」という企画があります。そして、「天竜道」これは天竜川に沿った文化圏としてありますが、昇龍道と天竜道を結ぶ連絡道路としての役割も果たされるということになるわけです。

しかしながら、山間部を縫うように走る本路線は、幅員狭隘箇所、あるいは急カーブ、こうしたところが連続しておりまして、未改修区間もまだあります。道路の安全性の確保、あるいは有事の際に迂回路の役割を果たす上でも、早期の改良を期待することが、私

ども沿線住民の悲願でもあるわけです。

この後、国土交通省中部地方整備局道路部長の小野寺誠一様、また、長野県建設部建設技監の油井均様に、ストック効果についての基調講演をいただきます。お2人には、大変ご多忙の中、ご講演をいただくことに感謝を申し上げる次第でございます。

また、第2部では、「権兵衛峠道路のストック効果と地域の将来像」と題しましてパネルディスカッションを予定しております。権兵衛峠道路の開通がもたらした効果を検証しながら、今後の地域振興に取り組む、そんな姿、道路整備の重要性等を再考する機会になることを期待するわけです。

本日お集まりの皆様方の、さらなるご支援、それからご協力をお願い申し上げます。主催者としてのご挨拶といたします。

出席いただいた来賓の皆様

衆議院議員 宮下 一郎 様 秘書 秋山 典禎 様
衆議院議員 金子 一義 様 秘書 下田 学 様
国土交通省中部地方整備局道路部長 小野寺 誠一 様
国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所長 柴山 智和 様
長野県建設部建設技監 油井 均 様
長野県木曾建設事務所長 塩入 信一 様
長野県伊那建設事務所長 飯ヶ浜 安司 様

祝電をいただいた来賓の皆様

衆議院議員 宮下 一郎 様
衆議院議員 後藤 茂之 様
参議院議員 吉田 博美 様
元国土交通省技監 足立 敏之 様

